

問題 1

出題の意図

従来は”不要な器官”と考えられてきた虫垂について、近年の研究によって新たな生理的役割が見直されていることを英語で理解できるかを問うている。虫垂が腸内細菌叢の維持や免疫機能に関与し、消化器疾患の予防に寄与する新たな可能性を示した記事を読み、従来の医学知識が研究によって更新され続けることを理解し、受験者が入学後このような新たな知見を生み出す素養が備わっているかどうかを企図する。

問題 2

出題の意図

研究不正・論文不正に関わる Nature の記事を題材とした。

せっかく研究をしても、不正につながるようなことがあってはならない。

大学院入学にあたり、今一度不正について考えてもらいたいと思い本稿をピックアップした。

さらに英語文章だけでなく、英語の図表を読み取る力も図ることで総合的な英語力・洞察力を試している。

問題の英文は約 2,300 文字（スペース除く）、図表は 1 つである。試験時間は 1 時間で、このような大問がもう 1 つあるので、単純に考えると 30 分で本問を解かねばならない。

辞書持ち込み可としても、なかなかのボリュームであり、英語が得意な者はすべて解けるであろうが、そうでない者は最後の問題まで辿り着けないと予想される。こうして差がつくと考えられ、結果 英語の実力を計ることができると思われる。